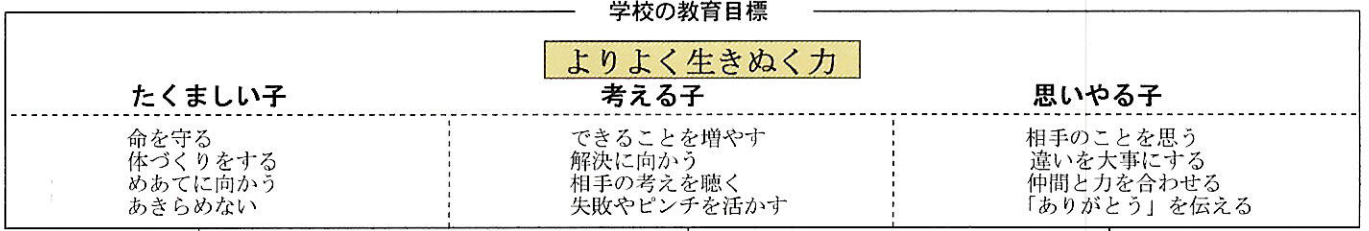
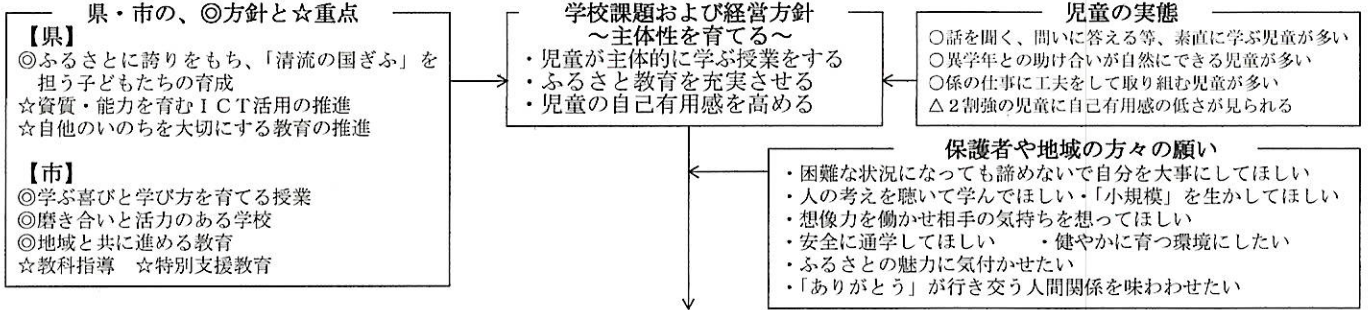
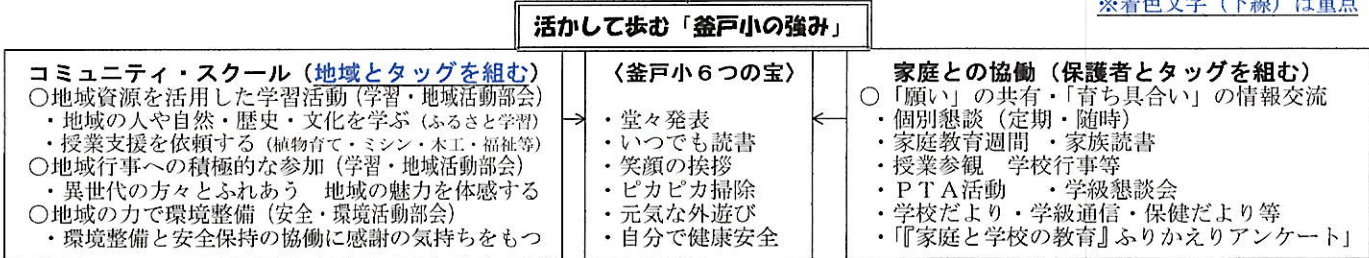


令和4年度 瑞浪市立釜戸小学校 学校経営構想



<p>【命を守る】安全に生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危険を予測する習慣を付ける 交通事故・地震・火災・大雨・不審者・感染症・心身への暴力・ネット依存・アレルギー等 ○遭遇時の判断の仕方を教える 命最優先 危険から離れる 助けを求める 道具を使う 逃げる 戻りなし 助け合う 	<p>【できることを増やす】基礎を習得する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識と技能を身に付けさせる 知る 読む 書く 話す 聴く 運動する 手先を器用に使う ICTを効果的に活用する 《授業、特活、給食、行事、休み時間、家庭》 ○教科間や教科外の内容とつなぎ、身に付けた力を必然的・実践的に発揮させる 	<p>【相手の気持ちを思う】想像力を働かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の立場で考える習慣を付ける 自分が相手の立場だったら… ○相手の気持ちを知らせる 相手の感じ方は、自分の感じ方と違うかも… ○相手のためにできることを考えさせる ○読書の推進 多様な立場や考え方の間接体験
<p>【体づくりをする】健康に生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育の学習を日常生活につなげる 運動の楽しさ・めあて達成（上達）の喜び 運動環境の整備《体育授業・休み時間》 ○健康的な生活習慣を身に付けさせる 早寝早起き・十分な睡眠・バランスのよい食事 ○病気を防ぐ力・罹った時の対応力を育てる 自分の体（平熱・傾向・持病）の理解 感染対策や病気の理解と対応 	<p>【解決に向かう】とことん考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○疑問を大事にする 自分の疑問を出す 仲間の疑問に耳を傾ける 《全授業、学活、特活、朝の会・帰りの会等》 ○考える楽しさを大事にする 考えを聴く 考えを伝える 仲間と話し合う <u>《授業研究（算数）：数学的な見方・考え方を働かせて主体的に学ぶ子～小規模ならではの個別最適な学びと協働的な学びのある授業～》</u> 	<p>【違いを大事にする】人権を尊重する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○命の尊さに気付かせる 自分につながる命 失えば二度と戻らない命 自分の命から考える「相手の命の尊さ」 ○違いの理解と受容を促す 違っても当たり前 違いを知り受け入れる 折り合いも必要 気持ちを吐露する ○差別・いじめを許さない 心や体を傷つける言動をしない、させない
<p>【めあてに向かう】目指すものがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ○めあてを「見える化・聞こえる化」する 個人や集団で向かうめあてについて、文にしたり呼びかけ合ったりする《朝の会・帰りの会・学活等》 ○夢や憧れをもつ機会を提供する 本物に触れる 地域で活躍されている方と交流する 多様な生き方や考え方を知る 《読書・授業（教科・総合）・行事等》 	<p>【相手の考えを聴く】学び合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話してよかった」という体験を促す 否定されなくてよい わからなくてよい まとまらなくてよい 途中で変わってよい 話す楽しさ 自分の考えが変わる楽しさ ヒントになったと言ってもらえる嬉しさ ○「聴いてよかった」という体験を促す 相手の考えを聴いて考えが変わる楽しさ 聴いて考えたという充実感 	<p>【仲間と力を合わせる】温かくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○願いをもつことを大事にする 《なりたい自分 居心地のよい学級・学校》 ○誰かのために心や体を使う尊さを教える 仲間のために働く 役割を果たす 呼びかけ合う 応え合う カバーし合う 年齢・性格・得意不得意・経験・体調・病気や障がいの有無、LGBT 違いを理解し支え合う 困り感に寄り添う <u>《自己有用感を高める》</u>
<p>【あきらめない】自分を大事にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○過程を大事にする考え方を教える 自ら動いた 何度も挑戦した 仲間から学んだ 自分を見つけた 頼りにし合った 工夫した ○悲しさ・悔しさ・怒り・困りとの付き合い方や解決策を共に考える 話す 書く 助けを求める 体験談を聞く 見方を変える 休憩する <u>《自己肯定感を高める》</u> 	<p>【失敗やピンチを活かす】前を向く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「失敗やピンチがなければ気付かなかったこと」に気付かせる 失敗は成功の素 ○ピンチをチャンスに捉え直した言動を逃さず価値付ける ○失敗やピンチを経て変容した事実を、言葉に表して伝える 変容の「見える化・聞こえる化」 	<p>【「ありがとう」を伝える】感謝する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭・学校・地域の中にある「有り難さ」に気付かせる 当たり前になっていることが、誰かの日々の努力の上に成り立っていること <u>《家族・友達・学校や地域の人の支え、魅力 自然・文化・歴史・社会の仕組みの偉大さ》</u> ○「ありがとう」の伝え方を教える

※着色文字（下線）は重点



目指す職員像

<p>○命を守りきる職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット共有→即行動 ・「命」最優先 ・危機管理の「さしすせそ」 	<p>○健康で笑顔あふれる職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きがいと働きやすさの両立 ・「今やるべきこと」の見極め ・Helpの出し合いと助け合い 	<p>○考えることを楽しむ職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えが変容する楽しさのある授業と会議 ・大事にするのは児童や同僚の「疑問」 ・「疑問」からの対話・相談→改善 with 隣人・二部長・生指・教務・教頭・校長 	<p>○プロ意識と良識のある職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図的・計画的・組織的な実践 ・PDCA サイクルで実現する質の向上 ・自らの姿や言動が与える影響の自覚 ・研修で高める知識と意識
---	--	--	---

～役割遂行&温かい機転でつながる Team 釜戸小～